

A. 主な動き

1. 内政

・17日、プラホトニク議会第一副議長(民主党副党首)は、小選挙区制への議会選挙制度の変更を提案する旨発表。

2. 経済

▼マクロ経済

・20日、IMFは、モルドバの2012年及び2013年の経済成長率の予測を維持(2012年は3.5%、2013年は4.5%)するとともに、インフレ率を2012年は5.5%、2013年は5.0%と予測する旨報告。

3. 外政

▼ロゴジン露副首相兼沿ドニエストル担当露大統領特使の来訪

・16日、ロゴジン露副首相兼沿ドニエストル担当露大統領特使は、キシナウを訪問し、ティモフティ大統領と会談。両者はモルドバ・露関係の発展に関し意見交換し、平和維持部隊が駐留する「安全地帯」の情勢に関し協議。ティモフティ大統領は、モルドバ政府は沿ドニエストル紛争解決に関し、モルドバの国家主権及び領土保全の原則に基づき沿ドニエストルに特別な地位を与えるとする立場を強調。

・同日、ロゴジン副首相は、フィラト首相及びカルポフ国家再統合問題担当副首相と会談し、両国の経済・貿易、社会、文化及びエネルギー分野における協力関係強化及び沿ドニエストル問題に関し協議。

・同日、ロゴジン副首相は、ラザル副首相兼経済相と会談し、両国経済関係及びガス分野における協力に関し協議。また、同日、同露副首相は、ヴォローニン共産党党首と会談。

▼フィラト首相のブルガリア訪問

・19日、フィラト首相は、ブルガリアを訪問し、プレヴネリエフ大統領との会談において、両国間対話の深化への期待及び「5+2」者交渉におけるブルガリアの支援に対し謝意を表明。プレヴネリエフ大統領は、モルドバの欧州統合路線に支持を表明し、両国協力関係の活性化につき言及。

・同日、フィラト首相は、ボリスフ首相と会談し、経済、文化、教育・人文、投資及び農業分野における相互協力に関し協議。

4. 沿ドニエストル

▼ロゴジン露副首相兼沿ドニエストル担当露大統領特使の沿ドニエストル訪問

・16日、ロゴジン露副首相兼沿ドニエストル担当露大統領特使は、ティラスポリを訪問し、シェフチューク「大統領」と会談。シェフチューク「大統領」は、同副首相の来訪を歓迎し、両

者の協力による沿ドニエストル問題解決への期待を表明。同副首相は、モルドバ・沿ドニエストル関係は改善しつつある旨評価、ロシアは仲介者として紛争解決に協力する旨発言。

▼「5+2」者公式会合の開催

・17、18両日、ウィーンにおいて本年2回目の「5+2」者公式会合が開催され、フォーレ・アイルランドOSCE議長国沿ドニエストル問題担当特別代表が議長を務め、当事者であるモルドバからカルポフ国家再統合問題担当副首相が、沿ドニエストルからシュタンスキ「外相」が出席。会合参加者は、「5+2」者公式会合の基本原則、手続き及び交渉課題に関し合意。会合後、フォーレ議長は、参加者が重要課題に関しコンセンサスに至るよう政治的意思と前向きな姿勢を示したことを歓迎する旨発言。

・18日、アシュトンEU外交安保上級代表は、本会合における成果を歓迎し、7月のウィーンにおける次回会合の内容に期待する旨の声明を发出。

▼その他

・20日、カルポフ国家再統合問題担当副首相は、19日のフィラト首相による沿ドニエストル地域内への露領事館開設を容認する発言に対し、開設は現状では不可能である旨述べ、沿ドニエストル紛争解決に向けた交渉のフォーマットを「5+2」者から米国及びEUを加えた7者へ変更する必要性に関し言及。

5. 防衛

・20日、オブレア・ルーマニア国防相は、モルドバを訪問、フィラト首相と国家及び地域の安全保障問題に関し協議。また、マリヌツァ国防相と会談、軍事協力に関するモルドバ・ルーマニア政府間協定に署名。同日、オブレア国防相は、ティモフティ大統領と会談。双方は、同協定の調印は両国関係発展にとり重要である旨確認。

6. 二国間関係

▼坂田大使によるティモフティ大統領表敬訪問

・17日、坂田大使は、ティモフティ大統領を表敬訪問し、大統領就任に際し祝辞を述べるとともに、二国間関係全般につき会談を実施。

▼対モルドバ貧困農民支援(2KR)第9トランシェ署名式の実施

・17日、キシナウにおいて、坂田大使とブマコフ農業食品産業大臣により、2KR第9トランシェにかかるE/N等書簡の署名・交換を実施(供与額1.3億円)。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)